

## 【各章の構成と内容】

各章の構成	内 容
トピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・違法伐採対策に向けた取組の進展、新たな森林・林業基本計画と森林法等の改正、平成 28 年熊本地震や台風災害の発生と林野庁の対応、CLT の活用に向けた法的枠組みの整備について記述。</li> </ul>
<b>I 成長産業化に向けた林業の新たな技術の導入 (特集)</b> 1. 林業の役割と新たな技術の必要性 2. 林業の新たな技術の導入 3. 新たな技術導入のための条件整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業の役割や成長産業化の課題、そのための新たな技術導入の必要性について記述。</li> <li>・成長産業化に向けた林業の新たな技術の開発と導入について、①林業の生産性向上のための技術（伐採と造林の一貫作業システム、コンテナ苗の大量生産技術、低密度での植栽と優良品種の開発、花粉発生源対策、早生樹種の導入に向けた検討、鳥獣被害対策のための新たな技術、高性能林業機械の開発）、②情報通信技術 (ICT) の活用（森林情報の整備、林業経営や木材流通への ICT の活用）、③木材需要の拡大に向けた技術の導入（非住宅分野における木材利用技術、国産材の利用が低位な部材の利用拡大に向けた技術、木質バイオマスのマテリアル利用に向けた技術）の 3 つに分けて記述。</li> <li>・新たな技術導入のための条件整備として、経営力のある林業事業体の育成、新たな技術の普及体制、国民の理解と投資の促進について記述。</li> </ul>
<b>II 森林の整備・保全</b> 1. 森林の現状と森林の整備・保全の基本方針 2. 森林整備の動向 3. 森林保全の動向 4. 国際的な取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の資源と多面的機能、森林・林業に関する施策の基本方針（新たな森林・林業基本計画等）について記述。</li> <li>・森林整備の推進状況、社会全体に広がる森林づくり活動、研究・技術開発及び普及の推進について記述。</li> <li>・保安林等の管理及び保全、治山対策の展開、森林における生物多様性の保全、森林被害対策の推進について記述。</li> <li>・持続可能な森林経営の推進、地球温暖化対策と森林、生物多様性に関する国際的な議論、我が国の国際協力について記述。</li> </ul>
<b>III 林業と山村</b> 1. 林業の動向 2. 特用林産物の動向 3. 山村の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業生産の動向、林業経営の動向（2015年農林業センサスの解析等）、林業の生産性向上に向けた取組、林業労働力の動向について記述。</li> <li>・きのこ類の動向、その他の特用林産物の動向について記述。</li> <li>・山村の現状、山村の活性化について記述。</li> </ul>
<b>IV 木材産業と木材利用</b> 1. 木材需給の動向 2. 木材産業の動向 3. 木材利用の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の木材需給の動向、我が国の木材需給の動向、木材価格の動向、違法伐採対策、木材輸出対策について記述。</li> <li>・木材産業の概況、製材業、集成材製造業、合板製造業、木材チップ製造業、プレカット加工業、木材流通業について記述。</li> <li>・木材利用の意義、住宅分野における木材利用、公共建築物等における木材利用、木質バイオマスのエネルギー利用、消費者等に対する木材利用の普及について記述。</li> </ul>
<b>V 国有林野の管理経営</b> 1. 国有林野の役割 2. 国有林野事業の具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益重視の管理経営の一層の推進、林業の成長産業化への貢献、「国民の森林」としての管理経営等について、一般会計化の前後の変化を踏まえ記述。</li> </ul>
<b>VI 東日本大震災からの復興</b> 1. 復興に向けた森林・林業・木材産業の取組 2. 原子力災害からの復興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林等の被害と復旧状況、海岸防災林の復旧・再生、復興への木材の活用と森林・林業の貢献について記述。</li> <li>・森林の放射性物質対策、安全な林産物の供給、樹皮やほだ木等の廃棄物の処理、損害の賠償について記述。</li> </ul>